

国際医療福祉大学大学院 公開講座
平成27年12月2日(水) 国際医療福祉大学青山キャンパス

脳と心

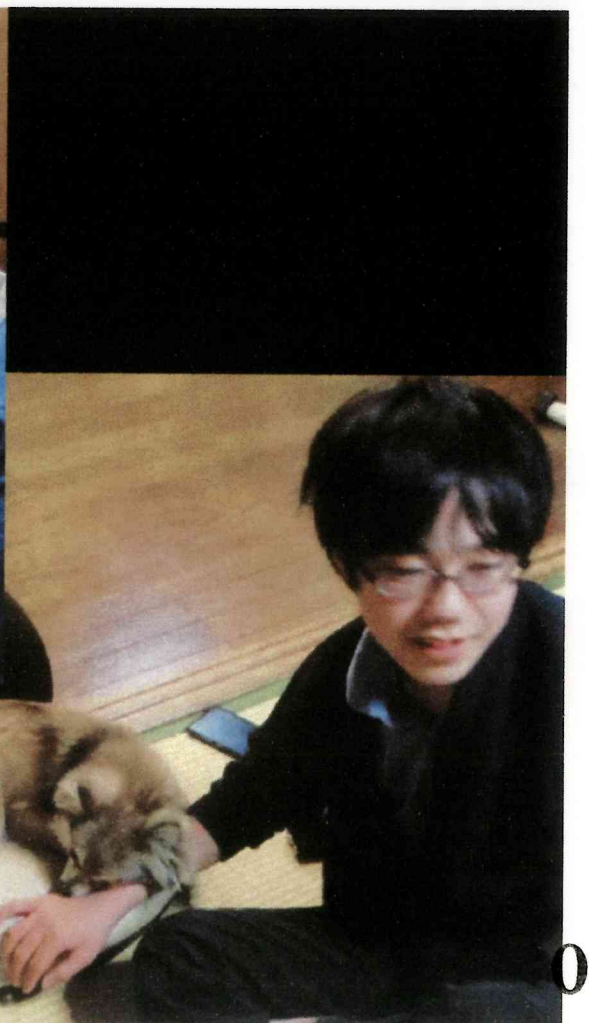
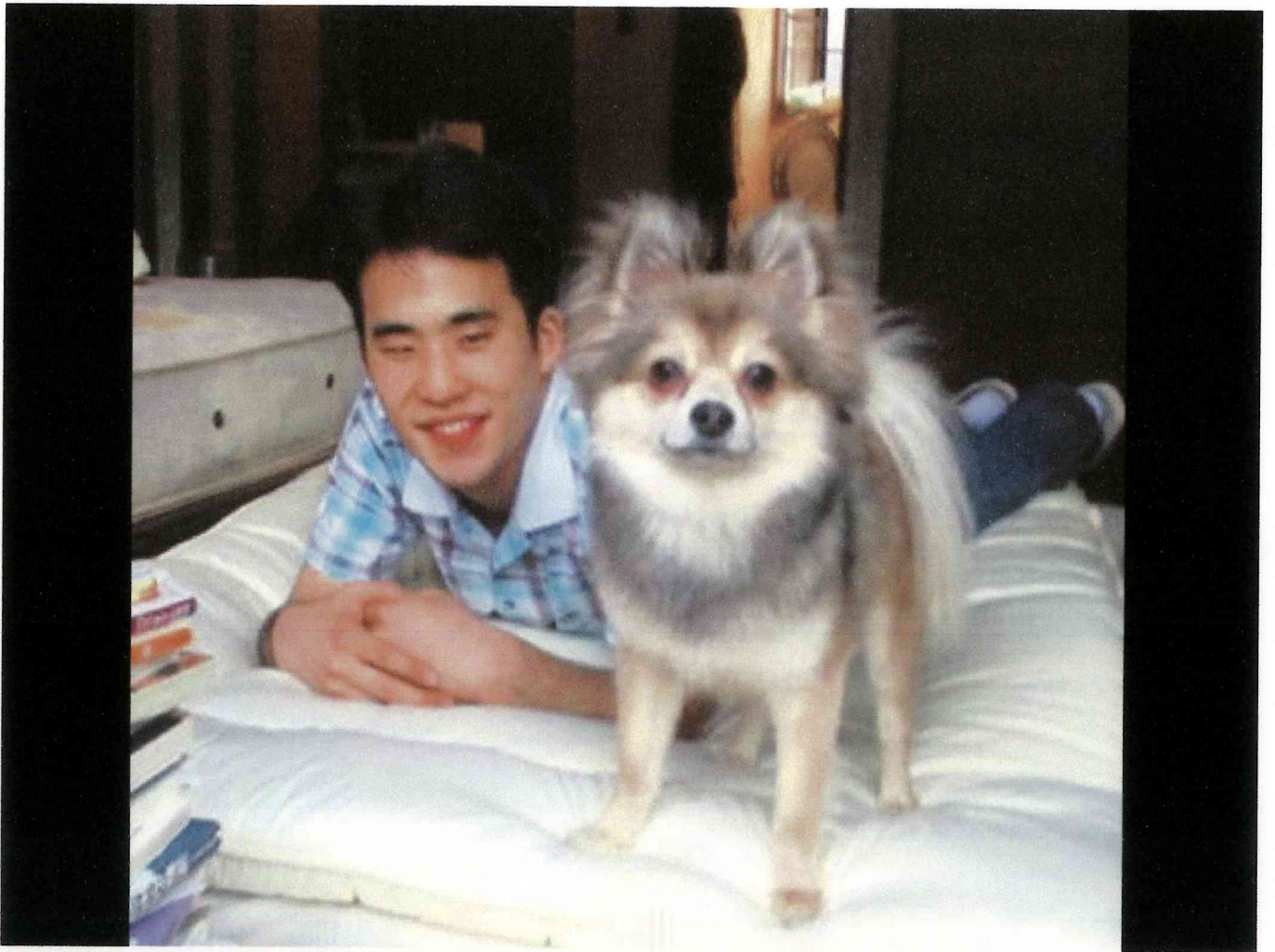
- 脳の部品を25年研究して -

東京都医学総合研究所

糸川昌成



ポポ
3歳

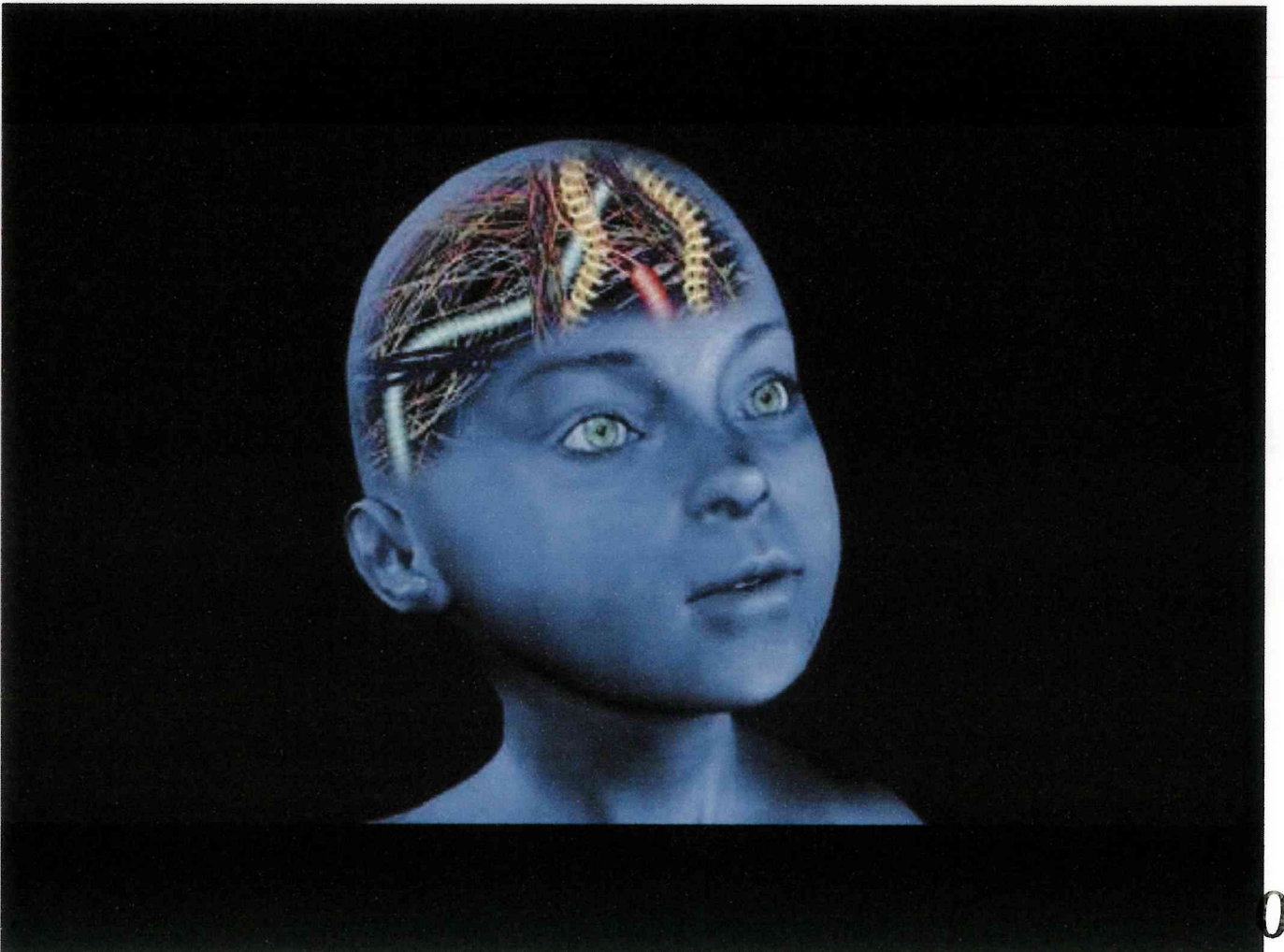






どうしてポポには心があって、
クラゲに心はないのか？





心は神経系の発達の度合いによって、
存在したり、しなかったりするののか

25年間、脳の部品の研究

近代医学はどのように発展したか

実験医学序説

クロード・ベルナール 著

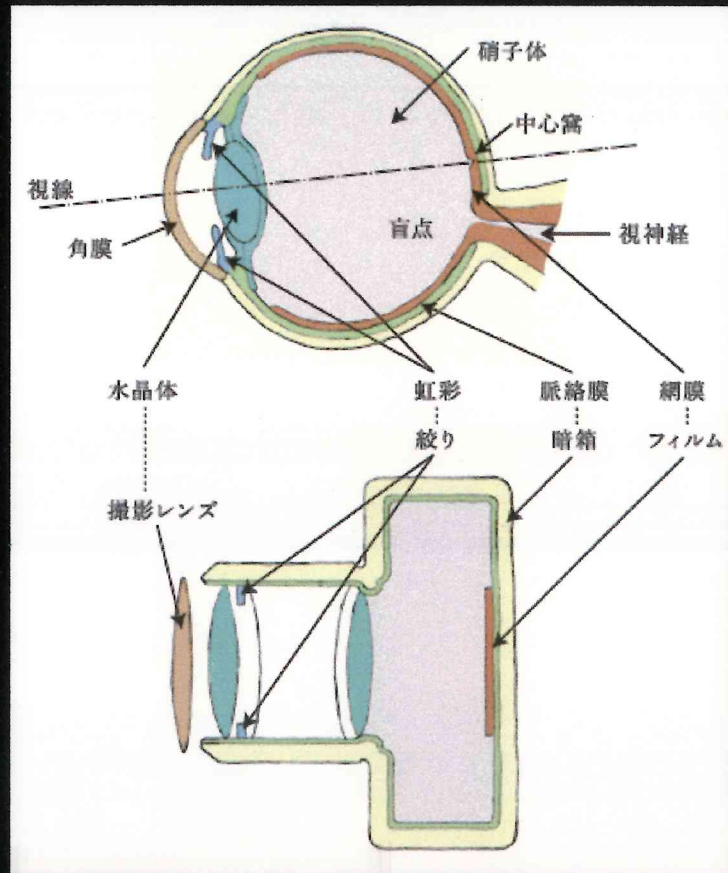
人体の構造や機能をよく調べもせずに治療を行ってきた観念的な伝統的医学に代わり、医学は科学にならないといけない。しかも医学は、単に観察に基づく医学(観察医学)ではなく、実験に基づく医学(実験医学)になるべきである。



青916-1
岩波文庫

1865年

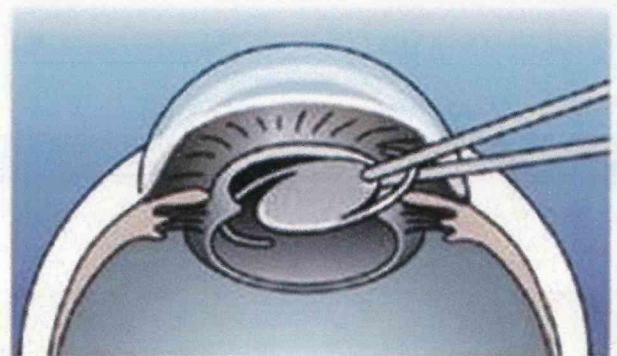
白内障や緑内障は眼の病気



白内障の手術



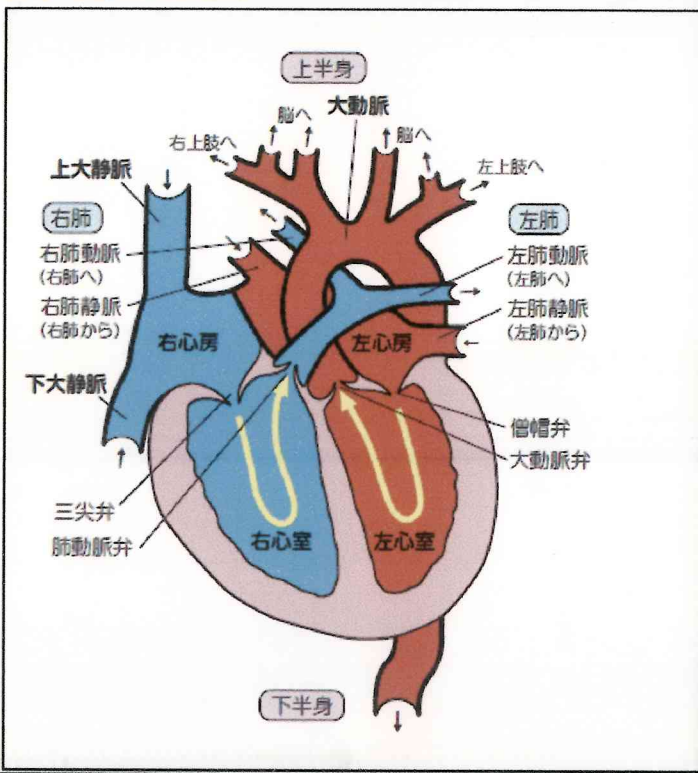
水晶体嚢を切開し、
水晶体の中身を吸引する



眼内レンズを挿入する

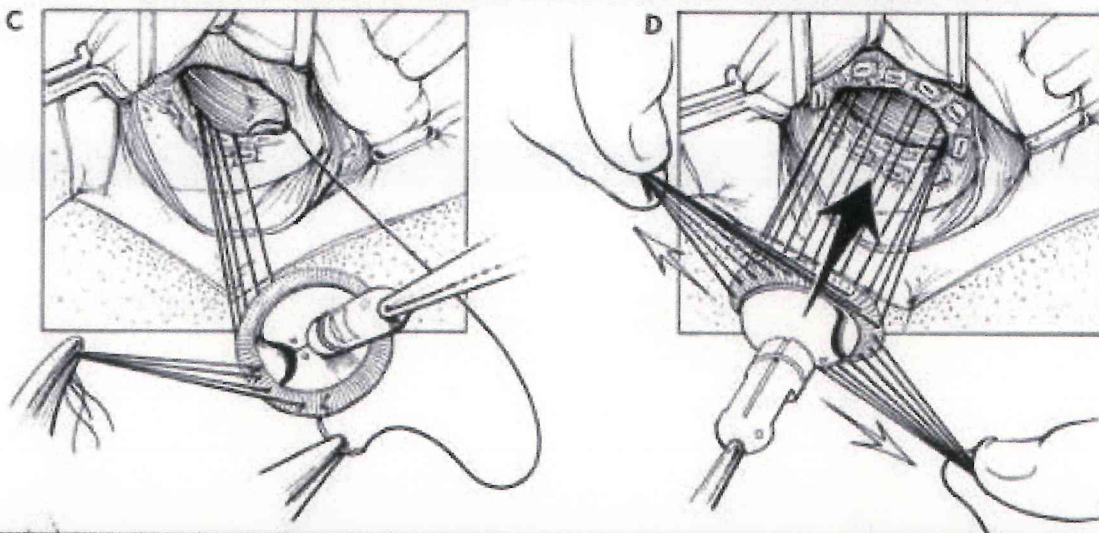
弁膜症や狭心症は心臓の病気

図2 心臓と全身の循環



人工弁置換の手術

Alternate-colored, everting mattress sutures with Teflon pledgets used.



精神疾患は脳の病気か (壊れた部品 of 交換)



25年、脳の部品を研究した

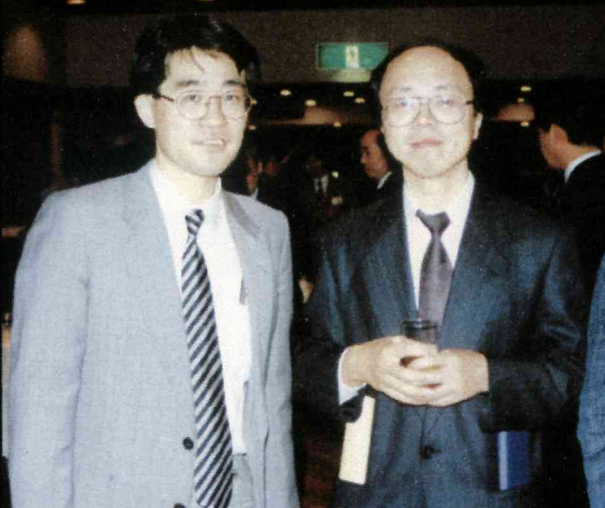


統合失調症患者さんのドーパミン神経の遺伝子には変異がある。それを見つけることで、この病気の原因が分かる。



とおる みちお

融 道男 教授 1989年
東京医科歯科大学精神神経科



有波忠雄 先生 1991年
筑波大学 基礎医学系遺伝医学教室

世界で初めて遺伝子を同定 (1994年)

3 総合 13版 1994年(平成6年)1月21日



東京中央区橋本5丁目
朝日新聞東京本社
電話03-35-15-0134
郵便振替1号 東京-170
©朝日新聞東京本社 1994

HOICO
 職場をこる液体墨ミガキ
ハピカ
 松下電器株式会社 産

精神分裂病の一部に関連

遺伝子、初めて確認

東京医歯大 教授

上 米 分 裂

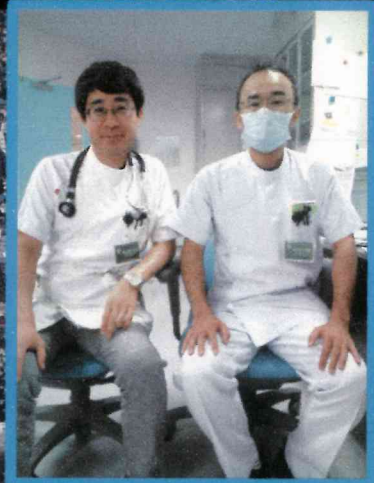
精神分裂病の一部が遺伝子の一方所の突然変異で起きていることを東京医歯大歯科大などのグループが突き止めた。低率ながら健康人にも同じ遺伝子をもつ人もおり、発病には環境などの因子も関係する。分裂病関連の遺伝子が確認されたのは世界で初めてで、発病予防に役立つと見られる。二十一日東京で開かれる厚生省精神分裂病研究班の報告会で発表する。

発見したのは東京医歯大神経精神医学教室の糸川昌成医師、融(ととおる)道男教授、筑波大遺伝医学教室教授のグループ。精神分裂病の一部は脳内の神経情報を伝える物質であるドーパミンが多過ぎで起こると考えられている。研究グループは十一番染色体にあるドーパミンを受け取る個所のたんぱく質(アミノ酸四百四十三個)の遺伝子を調べた。その結果、患者の多くは、ある特定の一個のアミノ酸が別のアミノ酸に置き換わっていることが分かった。

見られた。うち三人は前から同じ遺伝子を受け継いでいた。一方、健康診断受者などでは、同じ異常もつ人は三・七％だけだった。この突然変異をもつ人は、情報を過剰に伝えまららしい。若い時に



都立松沢病院 (精神科8)



最高峰最難関の
精神医学学術誌
へ発表

統合失調症示す血中物質

この病気の原因不明で、
発症を示す物質の発見は世
界初。関連するビタミンの
低下も患者の約2割で確か
めており、血液検査による
診断や発症予防、早期の治
療開始が可能になりそう
だ。8日、米国精神医学専
門誌に発表する。
統合失調症は、幻覚や妄
想が生じて思考が混乱し
たり、感情が不安定にな
ったりする病気。国内には
100万人の患者がいて、
10〜30歳までに発症す
る。発症は症状が出るまで
わからない。原因は脳内の
神経伝達物質ドーパミンの
過剰放出とする説もある
が、ドーパミンを抑える抗
精神病薬が効かない患者も

予防や早期治療に期待

統合失調症の患者の約4割で、血液中の「ペントシジン」という物質の濃度が高くなっていることを、東京都精神医学総合研究所と東北大学の研究チームが突き止めた。

都精神医学
総研など 患者の4割 通常の1.7倍

ORIGINAL ARTICLE

Enhanced Carbonyl Stress in a Subpopulation of Schizophrenia

Makoto Arai, PhD; Hiroko Yuzawa, DMC; Izumi Nohara, DMC; Tetsuo Ohnishi, PhD; Nanako Obata, DMC; Yoshimi Iwayama, MS; Seiichi Haga, PhD; Tomoko Toyota, MD, PhD; Hiroshi Ujiie, MD, PhD; Mayumi Arai, DMC; Tomoe Ichihawa, PhD; Atsushi Nishida, PhD; Yoko Tanaka, MD, PhD; Aizo Furukawa, MD, PhD; Yuuzou Aikawa, MD; Osamu Kuroda, MD; Kazuhiro Niizato, MD, PhD; Ryosuke Izawa, MD, PhD; Kazuhiko Nakamura, MD, PhD; Norio Mori, MD, PhD; Daisuke Matsuzawa, MD, PhD; Kenji Hashimoto, PhD; Masaomi Iyo, MD, PhD; Ichiro Sora, MD, PhD; Masaaki Matsushita, MD, PhD; Yuji Okazaki, MD; Takco Yoshikawa, MD, PhD; Toshio Miyata, MD, PhD; Masanari Itohawa, MD, PhD

Arch Gen Psychiatry. 2010;67(6):589-597

...d vitamin B₆ concentrations were determined by high-performance liquid chromatography. Accumulation of advanced glycation end products (AGEs) in the plasma of schizophrenia. Accumulation of advanced glycation end products (AGEs) in the plasma of schizophrenia. Accumulation of advanced glycation end products (AGEs) in the plasma of schizophrenia.

いる。
同研究所の糸川昌成・夢
事研究員らは、統合失調症
患者の約5割に1.7倍の濃度

NHKエンタープライズ制作

精神医学が身体医学と同じ発想でよいのか

- 感染症(細菌が侵入)

臓器病態は物質レベルへ**実体化**できる。

- 発熱、咳嗽、呼吸困難(肺炎)
→ 細菌感染、炎症物質
- 骨折 → リン酸カルシウム組織の断裂

実験医学を精神医学へ適用

実験医学序説

心を脳へ実体化して
研究してきた

張にもとづいて行なわれたさまざまな研究や発見は、当時の生理学界に大きな影響をあたえ、のちの実験医学の基礎ともなった。



青916-1
岩波文庫

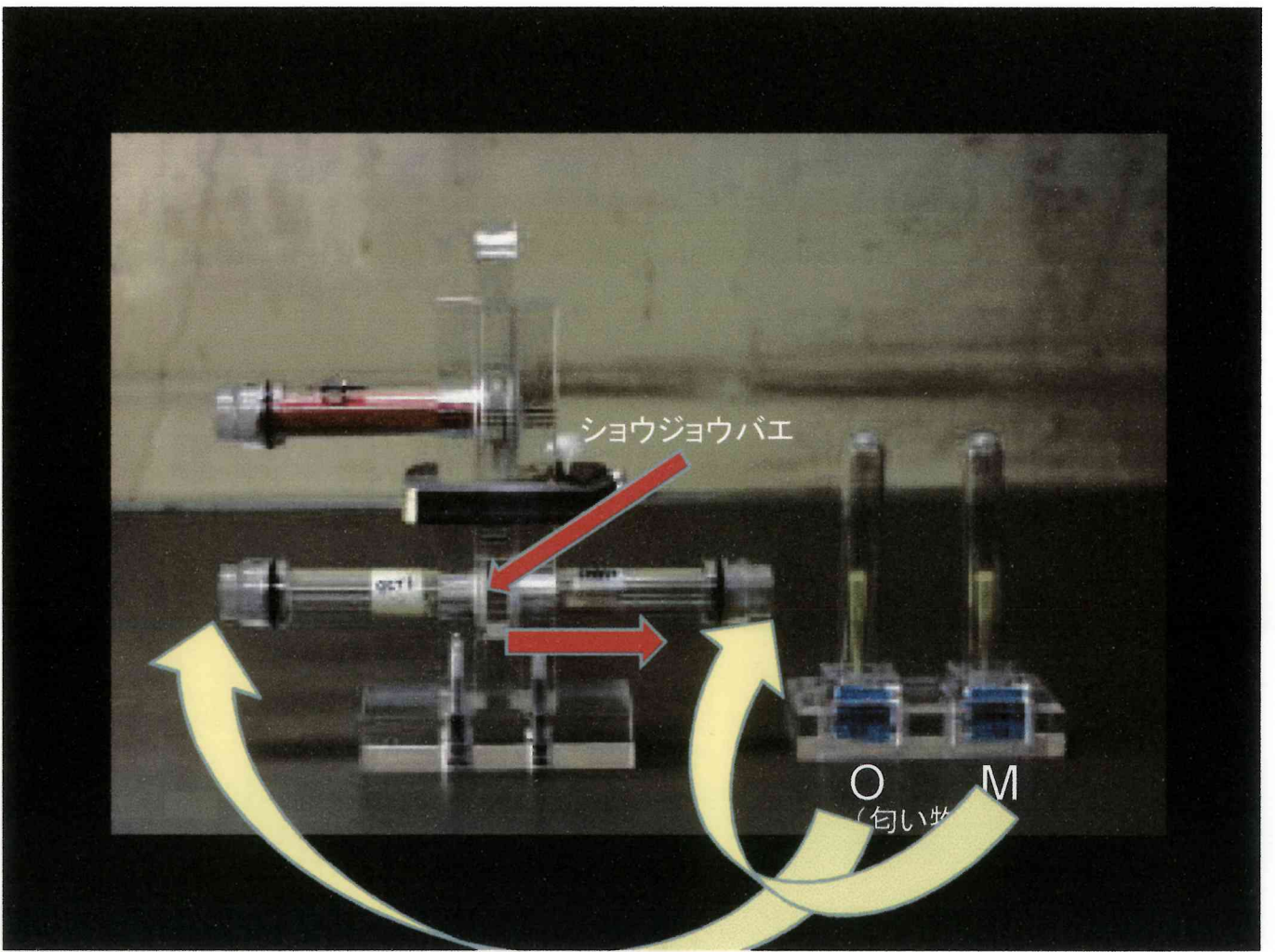
1865年

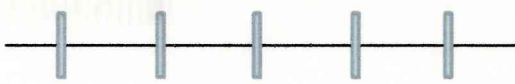
実験科学が心を研究すると

心
(旧約聖書)

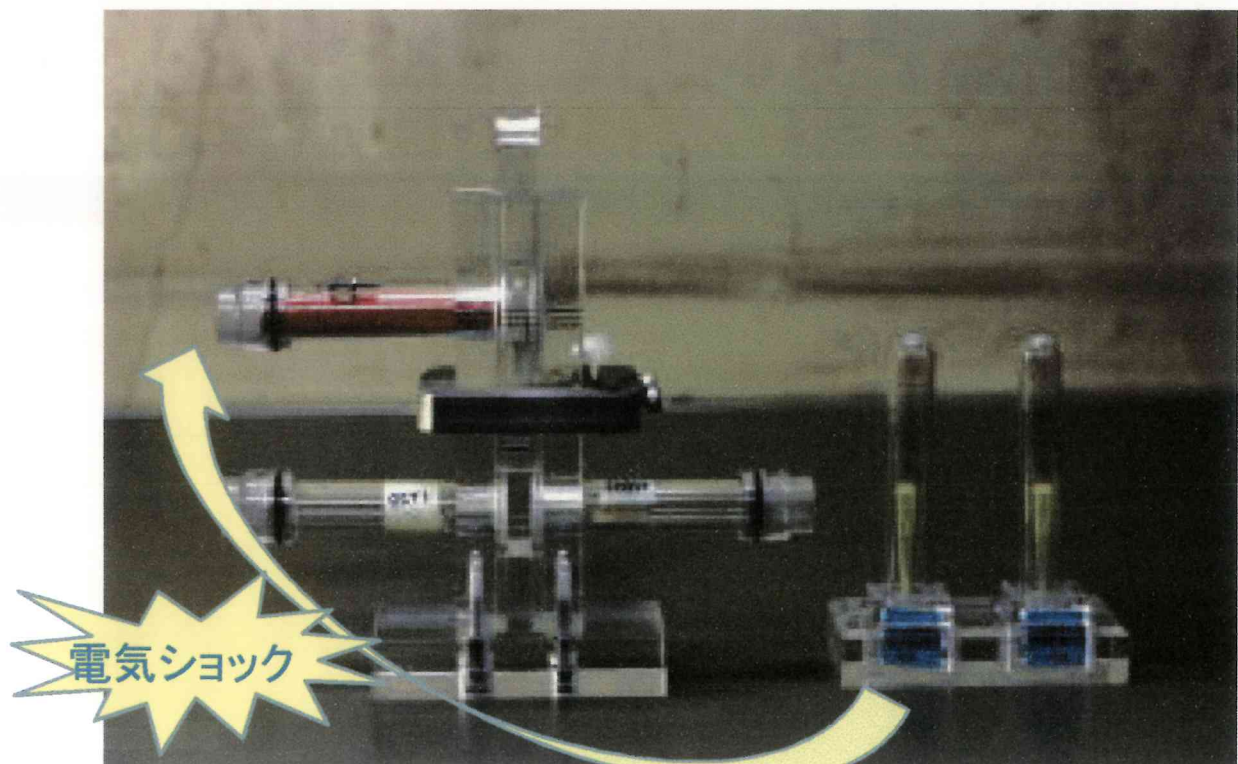
- 感情
- 記憶
- 思考
- 判断

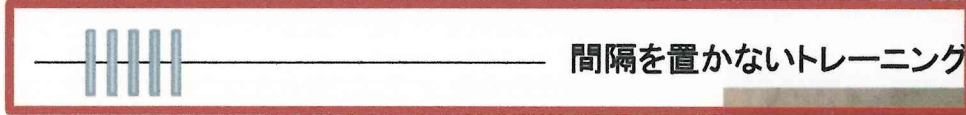
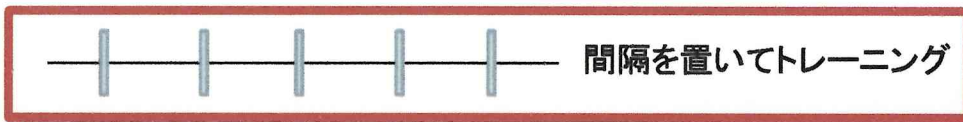




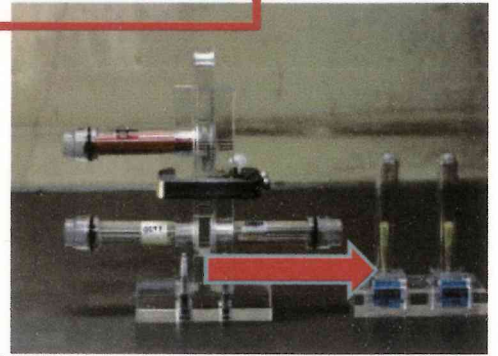
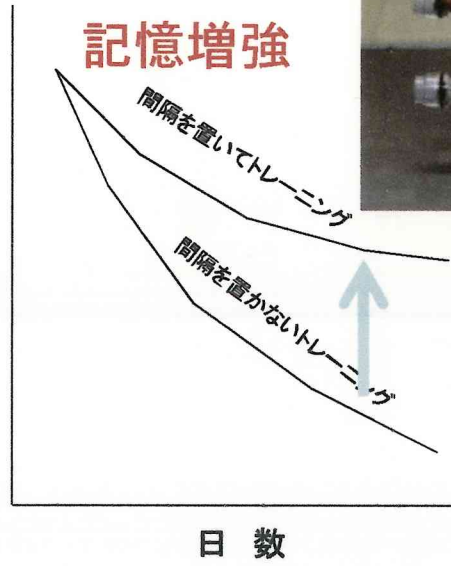

 間隔を置いてトレーニング


 間隔を置かないトレーニング





危険な臭いから逃げたハエの数



記憶には蛋白合成の過程が介在。

心とはタンパク質なのか

心
(旧約聖書)

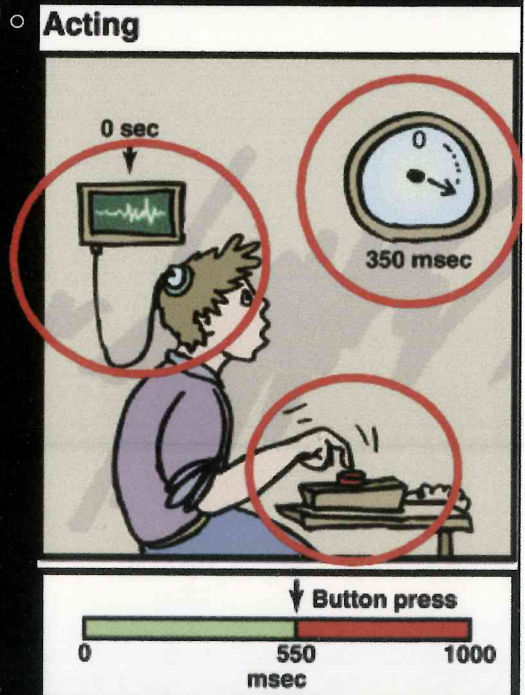
- 感情
- 記憶
- 思考
- 判断

仮に、心がタンパク質ならば

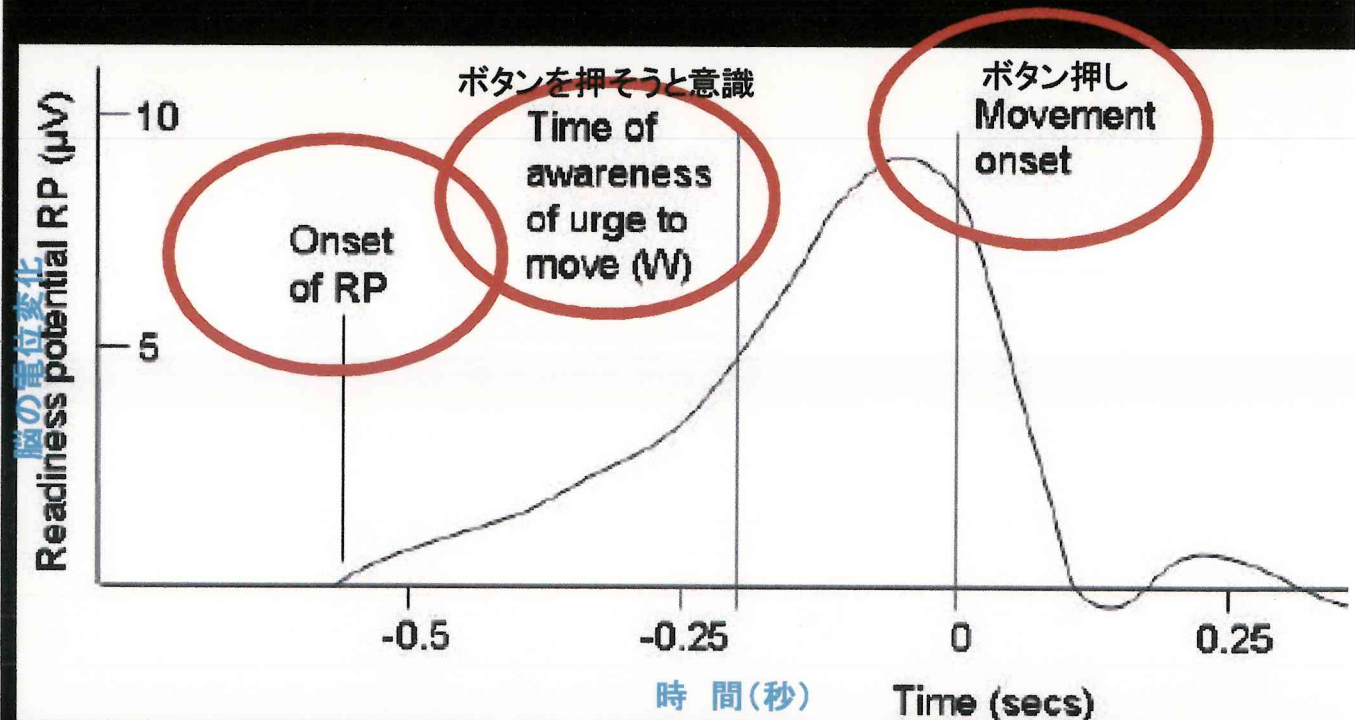
- 思考するとタンパク質が合成されるのか。
- タンパク質が合成されるから思考するのか。

自由意思の実験 (Libet 1982)

- 被検者に任意にボタンを押させる。
- 被検者の脳波を測定。
- 被検者は時計の秒針を目視。
- ボタンを押そうと意識した時刻。
- 脳波と意識の時間を比較。



脳の電位変化がまず起きてから、ボタンを押そうとする意志が後から発生



Libet B, Wright EW Jr, Gleason CA. Readiness-potentials preceding unrestricted 'spontaneous' vs. pre-planned voluntary acts. *Electroencephalogr Clin Neurophysiol.* 54(3):322-335. 1982



何かおかしい

心が脳(集積回路)と同じなら



AI(人工知能)は心を持つ

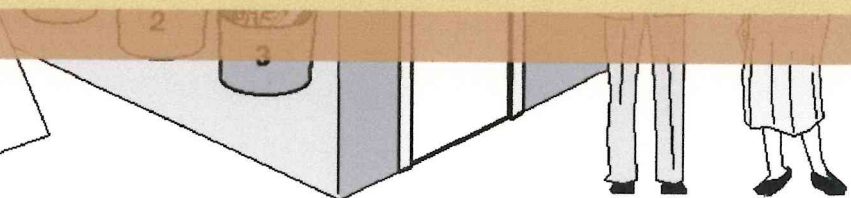
- ワトソン(IBM)はアメリカの有名クイズ番組でチャンピオンを破って優勝(100万ドル)獲得
- ワトソンは医学専門誌42誌のデータ、60万件の医学データ、150万人のカルテを取り込み、がん治療の判断。
- グーグル開発の自動運転車は161万キロを走行し事故2回(赤信号追突、自動運転オフ)。

人工知能は心をもつのだろうか

中国語の部屋 (John R. Searle 1980)

AIの発達があるレベルから人間そっくりな情動反応を返せる段階まで到達できても、情動が発生したとはいえない

Take a squiggle-sign from basket number 1 and put it next to a squoggle-squaggle sign from basket number 2.



身体現象が物質レベルへ**実体化**できたから

実験医学序説

クロード・ベルナール 著

心は脳へ 実体化してよいのか

張にもとづいて行なわれたさまざまな研究や発見は、当時の生理学界に大きな影響をあたえ、のちの実験医学の基礎ともなった。



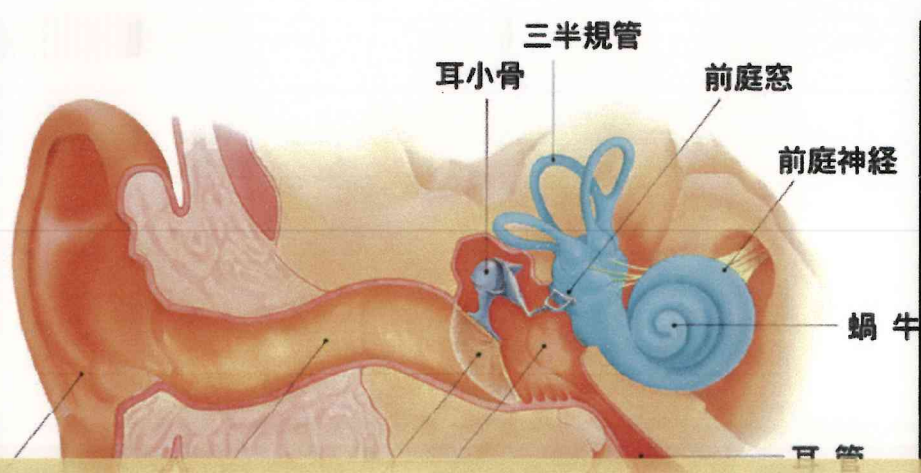
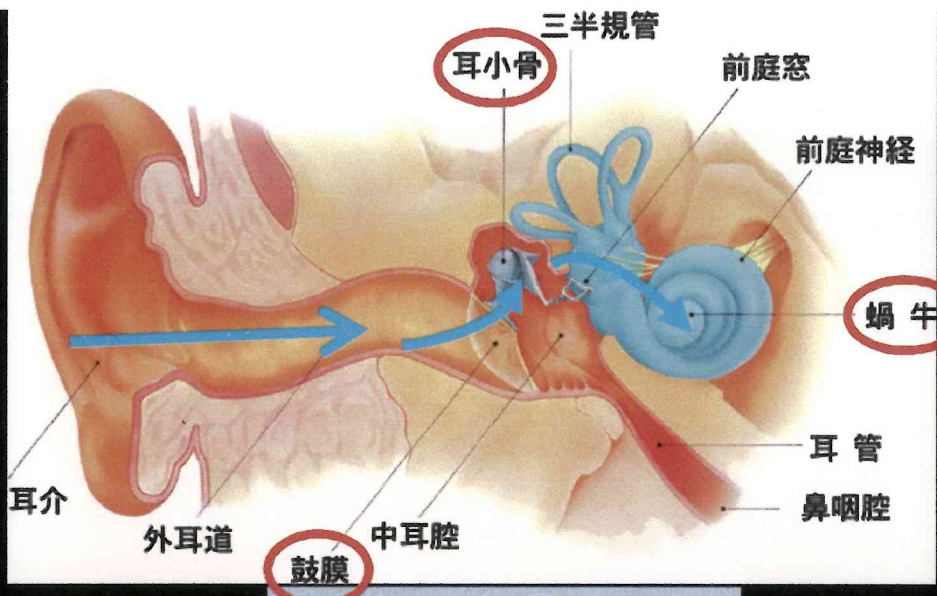
青916-1
岩波文庫

1865年

モーツァルト弦楽四重奏曲



美しい音色にうっとり感じるのは心



この経路の一つでも欠けると聴こえない

鼓膜 → 耳小骨 → 蝸牛 → 内有毛細胞 → 聴覚神経 → 内側膝状体 → 聴覚皮質

**聴こえる(心)ことは、
聴覚神経経路(実体)に依存する**

脳と心

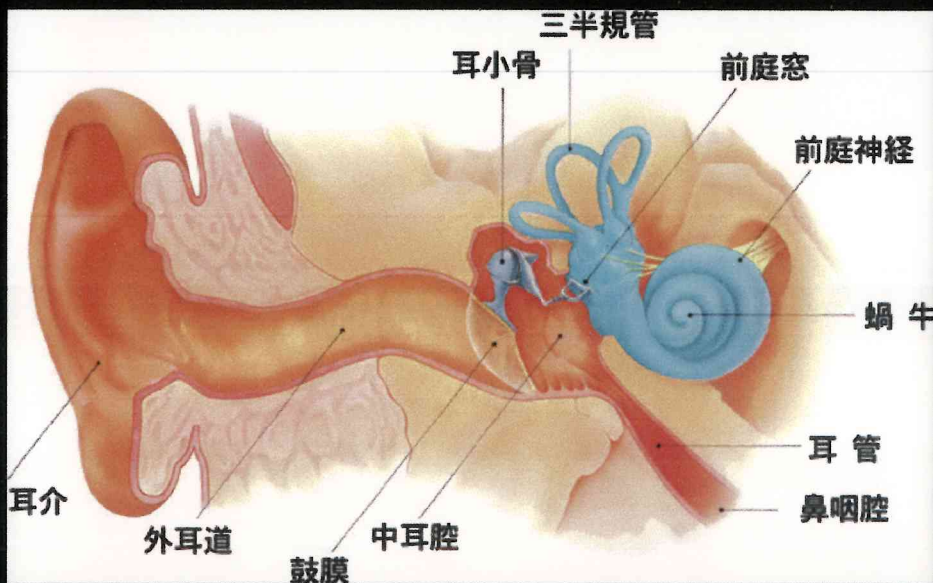
(実体) (実体ではない)

聴こえることは、聴覚経路に依存する
(実体ではない) (実体)

けれど、同じと言ってよいのだろうか。

先天性聴覚障害者

(生まれてから一度も音を聞いたことがない)



鼓膜 → 耳小骨 → 蝸牛 → 内有毛細胞 → 聴覚神経 → 内側膝状体 → 聴覚皮質

手術で聴覚経路を修復する

先天性聾啞者
(生まれてから一度も音を聞いたことがない)



手術後初めてモーツァルトを聴く

聴こえる(心)ことは聴覚経路(実体)に
依存するが同じではない。

心(物質でない)は脳(物質)へ
実体化できない

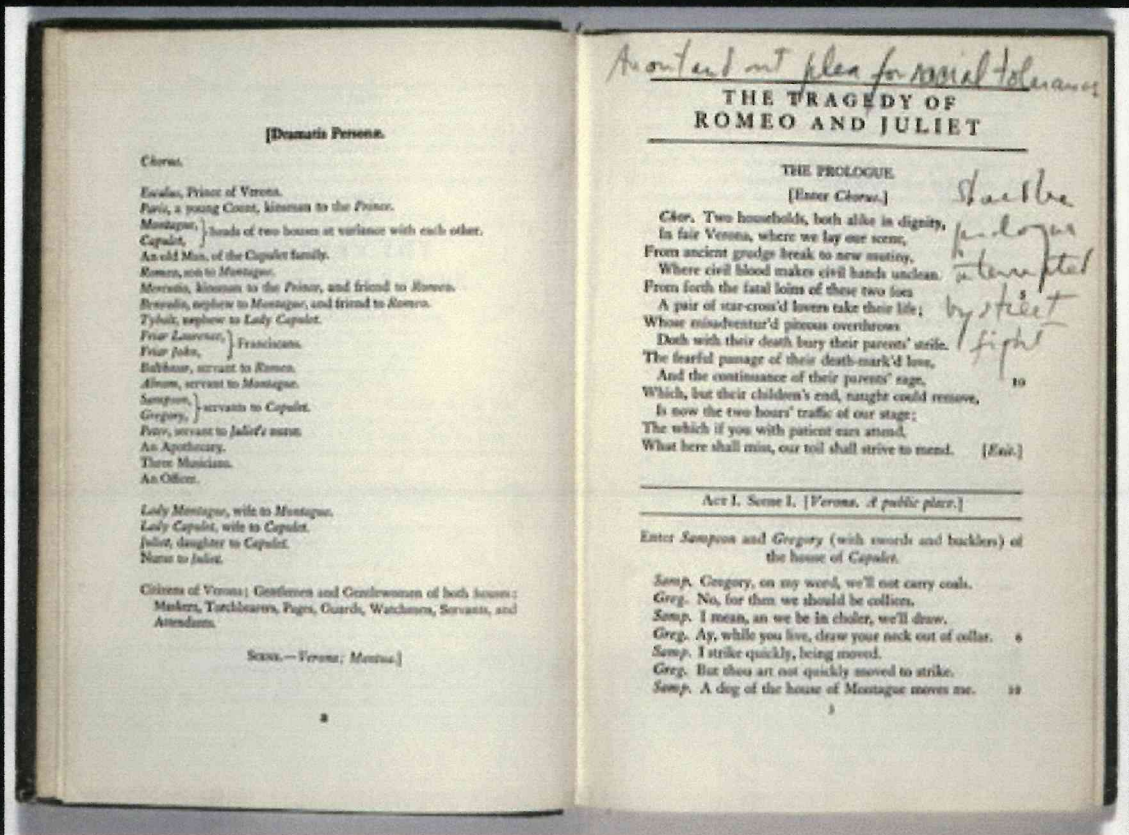
実体化を強行すると

ロメオとジュリエット (シェークスピア1595)



実体化

ロメオとジュリエット(シェイクスピア)

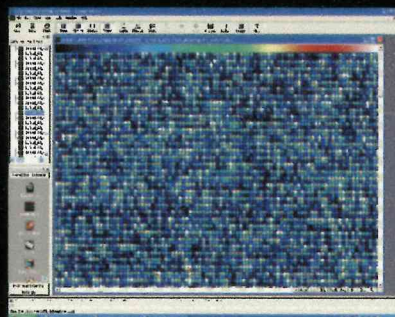


実体化できない

- 尊厳
- 自尊心
- 使命感、生きている証、献身、敬意
- 夫婦喧嘩の遺伝子(笑い話)



GeneChip



50万遺伝子を解析

脳の病気と心の病気

- 統合失調症(心の病気)は脳病態(脳の病気)に依存するけれど同じではない。
- 抗精神病薬は、脳病態を治療するけれど統合失調症(心)を治すことと同じではない。

たとえば、生活臨床

(岡崎祐士 松沢病院長 最終講義)

- 40代男性。20代で統合失調症を発症。大学を中退し、自宅で年老いた両親と同居。
- 正月のたびに再発して入院。
- 10歳違いの弟。
- 弟夫婦が正月に孫を連れて実家へ来る。
- 年老いた両親は孫をかわいがり、お年玉をあげる。

たとえば、生活臨床

(岡崎祐士 松沢病院長 最終講義)

- 弟夫婦を呼び、今度正月に実家へ行ったら、以下のことを述べてほしい。

統合失調症(心)が神経回路(脳)の疾患ならば、正月ごとに抗精神病薬を増量すればいいという発想が生じる。

- お年玉は、兄の頭越しに直接孫へ渡さず、兄へ渡して本家名代として弟夫婦へあげさせてほしい。

実体化できるものと、できないもの

- 幻聴はドーパミン神経に実体化できる。
- なぜなら、ドーパミン神経を抑える薬(たとえばリスパダール)で変化させることができる。
- 実体化できないもの(よるべなさ、やるせなさ、孤独、尊厳)

3つの治癒

- 外科的治癒(現状への復帰の放棄)
- 内科的治癒(現状への復帰)
- 精神科的治癒(現状とは違う場所への回帰)

脳の部品の研究者

なぜ、

全体が部品の集合と違うかもしれないと考えたのか。

脳の部品の研究者

なぜ、

全体が部品へ還元(実体化)できないと考えたのか。



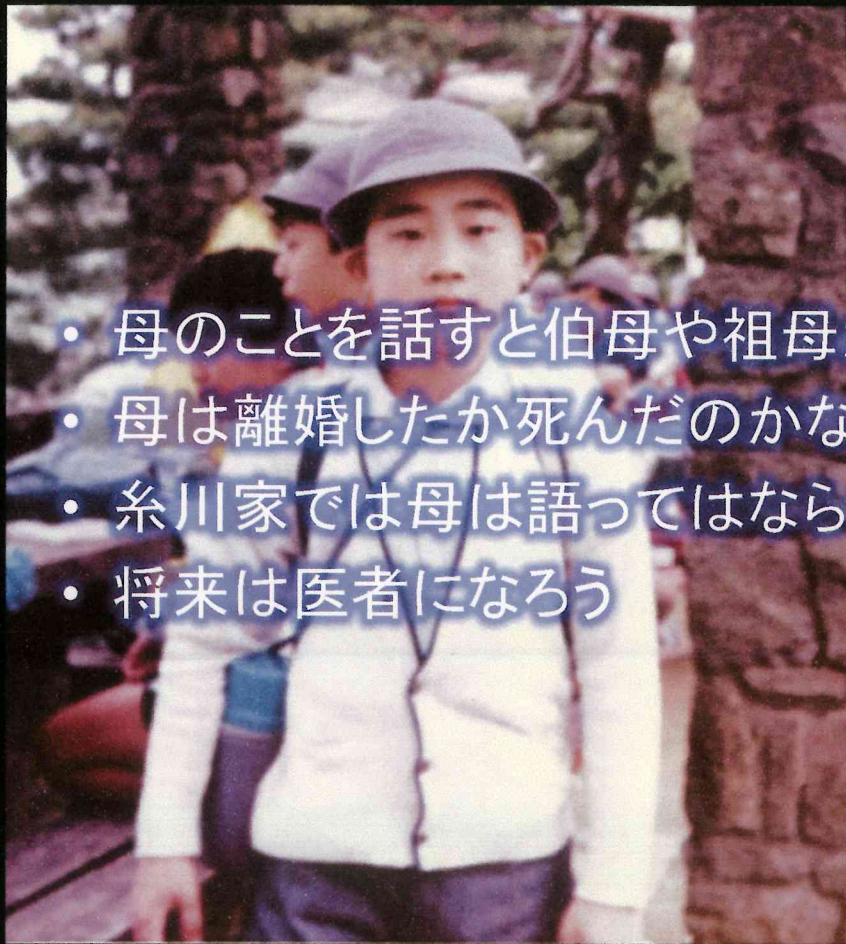
昭和30年代 釧路市



昭和36年 東京



昭和37年



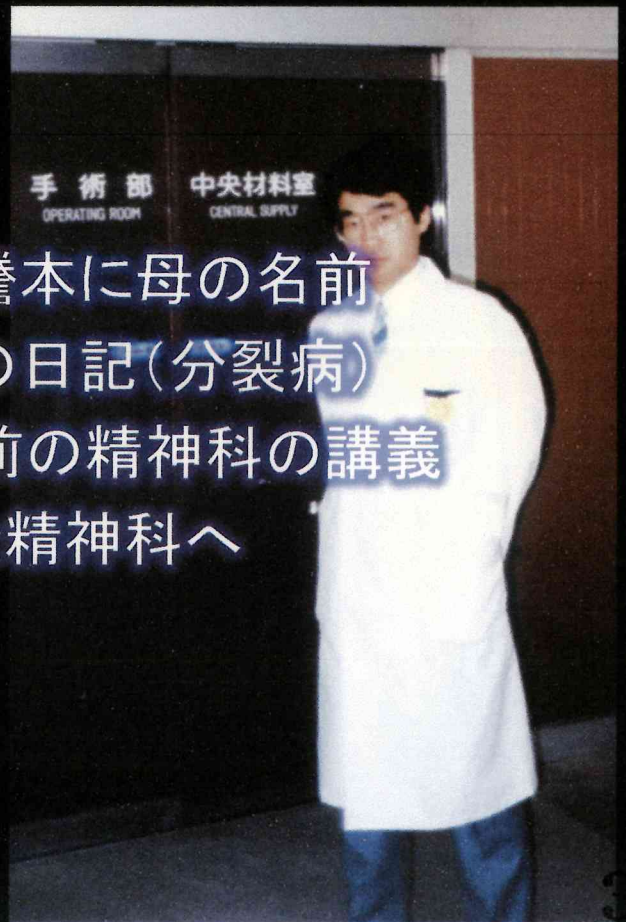
- 母のことを話すと伯母や祖母が困った顔
- 母は離婚したか死んだのかな
- 糸川家では母は語ってはならない存在
- 将来は医者になろう

昭和46年 小学5年生 遠足

昭和58年 埼玉医大入学



- 戸籍謄本に母の名前
- 叔父の日記(分裂病)
- 30年前の精神科の講義
- 自然と精神科へ



築地がんセンター呼吸器外科研修



- 母に会いたい、しかし。
- 孫を見せてあげたい。

平成元年 医師国家試験合格 東京医科歯科大学精神科 入局

平成12年2月1日

- 遺体を引き取りに
- 近い病院
- 変わり果ててなどいない。
- 激しい後悔



午前3時起床、5時研究開始



東京都医学総合研究所

医師主導治験 午前4時50分病棟へ、5時半採血



野原勝氏撮影

精神神経学雑誌第113巻総目次

第113巻 第9号 平成23年9月(2011年)

巻頭言

総合病院における精神医療・児童精神科医療の担い手の育成：

地域医療再生計画に望むこと 尾崎 紀夫...823

第107回日本精神神経学会学術総会

東日本大震災に対するこころのケア支援と復興支援対策ワークショップ(後篇)825

症例報告

「人が回復する」ということについて——著者と中村ユキさんのレジリエンスの

獲得を通しての検討—— 夏苺 郁子... 845

資料

医師の睡眠習慣に関する調査——勤務状況および生活習慣との関連性について——

..... 田村 義之, 千葉 茂...853

特集 双極性障害の治療を考える：エビデンスレビュー

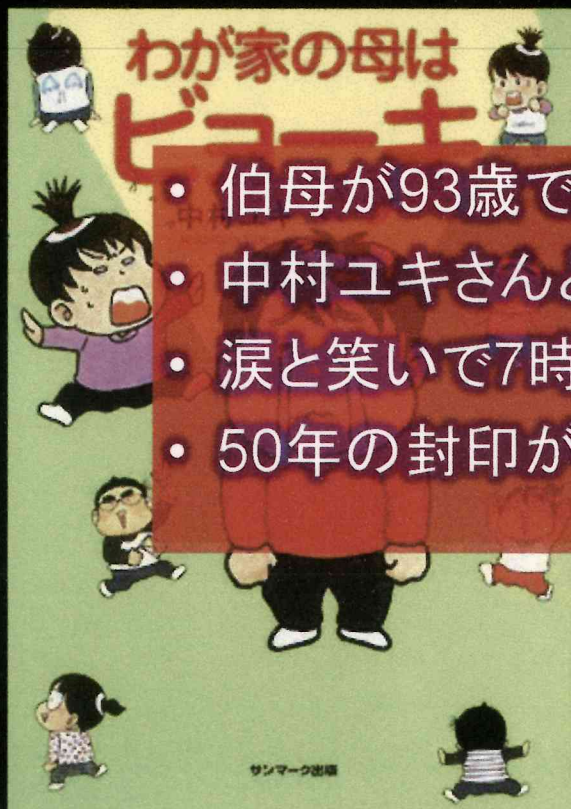
双極性障害の治療ガイドライン(日本うつ病学会作成)について 神庭 重信...863

躁病エピソードの治療エビデンス 寺尾 岳...867

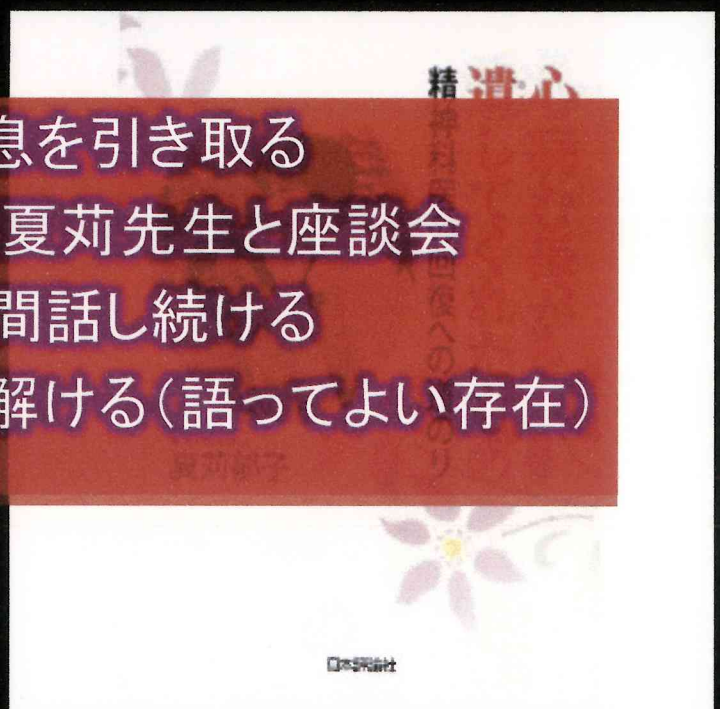
双極性障害うつ病相の治療エビデンス 山田 和男...873

双極性障害の疾患教育と対人関係・社会リズム療法 水島 広子...880

平成24年5月2日



- 伯母が93歳で息を引き取る
- 中村ユキさんと夏苺先生と座談会
- 涙と笑いで7時間話し続ける
- 50年の封印が解ける(語ってよい存在)



平成25年1月

糸川昌成

臨床家が
なぜ研究をするのか
— 精神科医が20年の研究の足跡を振り返るとき —

統合失調症の解明に一筋の光
1症例から始まった発見「カルボニルストレス」

「偶然と直観の作用する状況に挑戦するなかでこそ、
低い確率でしか起こり得ない貴重な体験が訪れる」(著者)
— 未来につながる発見とは？

あすへの希望を信じて統合失調症の解明にいどむ
精神科臨床医が研究をすることの内実を具体的に語る

星和書店

夏苺郁子先生からメール

- ・「母調べ」をしている。

私も母のカルテを閲覧してみよう。



母が亡くなって14年

- 直接、カルテを見たいと言っても不審がられる。



母が亡くなって14年

- 直接、カルテを見たいと言っても不審がられる。
- 以前勤めた病院の院長に頼んでもらったが、法律の保存期間を過ぎて見つからないと返事。



糸川先生は平成4年から7年まで、わたくしどもの病院に精神科医として勤務されておられました。

平成元年に埼玉医科大学を卒業され、同年に東京医科歯科大学精神神経科へ入局されました。融道男教授に御指導を受けられ、平成3年から5年まで筑波大学遺伝医学教室で統合失調症の遺伝子解析をされ、世界で初めて統合失調症の遺伝子を発見された方です。その後、医科歯科大学へ医員として戻られたのち、私どもの病院に週一日当直と日勤でつとめられながら、東京大学医学部脳研究施設で学位を取られ、平成7年から9年まで米国NIHへ留学されました。

帰国後、理化学研究所で研究されながら、週一日わたくしどもの病院のサテライトクリニックへ勤務された後、平成14年から東京都医学総合研究所の副参事研究員になられ、平成21年から参事研究員、分野長、プロジェクトリーダーを務めておられます。

平成22年に、世界で初めて統合失調症の血液中で原因物質を発見され、平成23年から世界で初めて統合失調症の医師主導治験を行われて御自身が発見された原因物質の分解に成功されました。

糸川先生のお母様である「みゆき」様は、糸川先生を昭和36年にご出産後まもなく統合失調症を発症されました。昭和40年代から精神科病院へ入院され、平成12年に貴院で亡くなられるまで糸川先生とは生き別れになっておられたそうです。糸川先生は大学時代にお母様が統合失調症であることを偶然知り、大変悩まれたそうです。生きて二度と会うことがかなわなかったことをいまだ悔やんでおられるようです。

今年1月に、ご自分の研究者でありながら精神科医として過ごしてきた20年を振り返り御著書をお出版され、その中でお母様の病気のことを公表されたそうです。ご自分のルーツを振り返り、お母様のことをお知りになりたいというお気持ちから、私どもの病院の長瀬院長へ貴院を訪問してカルテを拝見したいという御依頼がありました。院長からの指示があつて、わたくしが御連絡差し上げている次第です。

糸川先生は世界的に著名な科学者であり、精神科医であります。わたくしどもの病院の勤務医時代から、常識的で温厚な社会人でありました。カルテ開示は以上のような個人史を背景とした動機に基づかれており、訴訟など対立を前提としていないことを申し述べさせていただきます。

医療保護入院

子エナム
ラセナソリン (-)
セフトロ (-)
シオマリ (-)

生. 国. (社) 自. 病 床 日 誌

糸川 みゆき 敬
小りがな いと. の. 47
明治 大正 11年 11月 7日生 29才 男
昭和 昭和

文持 医 保 護 種 類
入院番号 157293 退院番号 H12-16

昭和51年8月23日 第1回入院
昭和52年2月1日 退院

姓名	糸川 みゆき	性別	男
生年	明治 11年 11月 7日	年齢	29才
入院日	昭和 51年 8月 23日	退院日	昭和 52年 2月 1日

傷病名	発症に因する疾患	入院期間	入院期間
	発症に因する疾患	昭和 51年 8月 23日	昭和 52年 2月 1日
	発症に因する疾患	昭和 51年 8月 23日	昭和 52年 2月 1日
	発症に因する疾患	昭和 51年 8月 23日	昭和 52年 2月 1日

カルテを見て初めて知ったこと

- 昭和36年に私を生んですぐに精神変調
- 父の背広とカバンをハサミで切る。
- 父のこうもり傘は大きくて人に刺さると危ないから、自分の赤い折り畳み傘を持って行かせる。
- 0歳の私を連れて、黙って北海道へ行ってしまふ。
- 都内の総合病院精神科へ4回入退院後、現在の病院へ転院し死ぬまで入院し続けた。(父への誤解)

症状には意味がある

- 昭和36年に私を生んですぐに精神変調

人は症状の意味と文脈を理解され、物語を腑に落ちる形で描けたとき、人として回復できる。赤い折り畳み傘を持って行かせる。

- 0歳の私を連れて、黙って北海道へ行ってしまふ。

母は、少量の抗精神病薬で育児ができたのではないだろうか。都内の総合病院精神科へ4回入退院後、現在の病院へ転院し死ぬまで入院し続けた。(父への誤解)

外泊記録

- 知らない女性の名前で記録
- 夫の家に寄った。
- 昭和54年11月の記録。
- 伯母の話(私が30歳のとき)
- 母は5歳で別れたきりと思っていた。

外泊記録の女性宅へ電話

- 母の従妹
- 研究所のすぐ近く。
- 母には姉がいた。(従妹にお願いして電話番号を教えてもらう)

母の姉へ電話

- 声
- みゆきの面影がある。
- 母には弟もいた。
- 「ばらが咲いた」

挫折

- 嬉しくて何度も電話。
- 自分の著書や新聞記事を郵送。
- 母の墓参りを提案。
- 難しいと断られる。
- 妻の言葉「あなたはりっぱかもしれない。でも、そのりっぱな考えで子供まで犠牲にしているのか」

鬱状態 (DSM-IV)

- 食欲低下
- 抑うつ気分・悲哀感
- 興味の喪失
- 風邪をひきやすくなる
- 自分に鞭打って出勤を続けていた。

夏莉先生の言葉

- 急ぎすぎではいけない。50年ぶり。相手がある。映画の逆(早)回しではいけない。
- 「親には子供を守る義務がある。でも、なにが守ることになるかは難しい」

毎日、自問自答した。

松沢病院



医学研



親は子を守る義務がある

- 母のことを隠し続けること。
- 娘も、娘の娘も隠し続けること。
- 世代の連鎖を私の代で断ち切ること。

私は生き方を確信し、うつ状態は治った。

正月に従妹へ電話

- 母の古い写真が出てきた。→見せていただけないか。
- 研究所のすぐそばの家へ。
- 母の姉も。

改札口で待ち合わせ

- 母についに渡せなかったカーネーションをお二人に。



従妹の御自宅で

- この向きで母がいた。
- 母の母は、母が幼い頃病没。
- 二人目の母も男の子を生んで病没。
- 3人目の母との間に緊張関係。
- 母の姉は祖父母宅へ。
- 父の不在のとき、実母の親戚を訪ねる。
- 東京へ。

母は愛情を求めて

- 嫁ぎ先は父の弟姉妹が同じ横丁に住む。
- 発症し、北海道へ帰っても3人目の母。
- 戻って来て悪化。



埼玉へ帰り、妻と子供と母の話をする

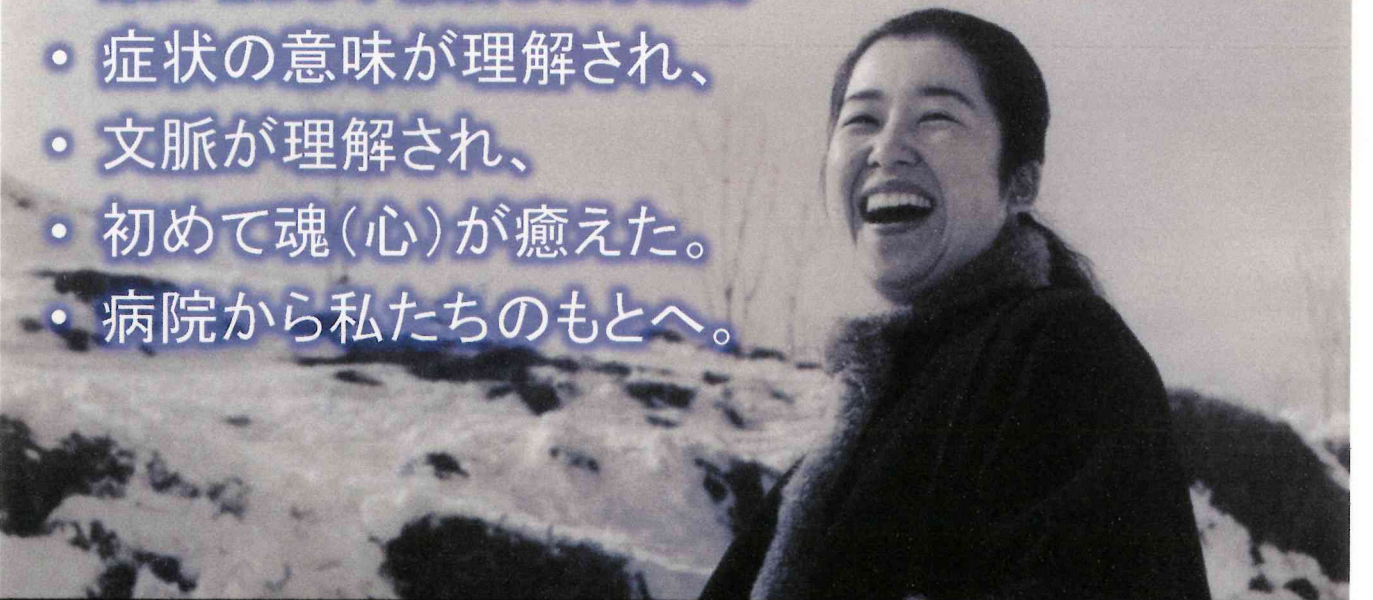
- 母の哀しみが癒えてくる。

異常行動に見えた症状に、母の愛情を求めた人生の文脈が見えてくる。

- 夜、息子夫婦と孫たちで写真を見ながら母の話



- 母は普通に見えた。
- 薬が脳だけを治した状態。
- 症状の意味が理解され、
- 文脈が理解され、
- 初めて魂(心)が癒えた。
- 病院から私たちのもとへ。



2月1日(母の命日)に墓参り



父との和解

母の尊厳の回復

2014年2月5日

父に食道癌が発見される。

T大病院へ緊急入院

- 30分前のことを忘れる。
- K大病院の先生はT大病院にいること知らない。
- 確定申告のために帰る(命とどっちが)。



症状には意味がある

- 30分前のことを忘れる。
- K大病院の先生はT大病院にいること知らない。
- 確定申告のために帰る(命とどっちが)。



症状には意味がある

- 2月22日、K大病院予約。
- 2月19日、T大病院を退院してしまう。
- 介護保険の往診医指定を断る。



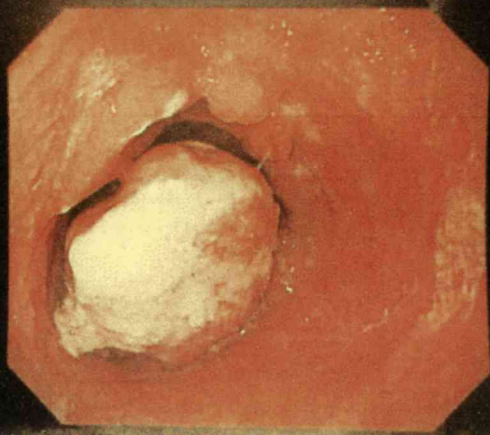
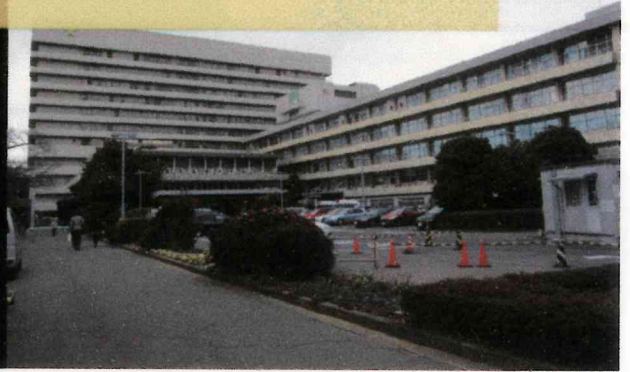
K大病院へ転院

- 手術は無理。
- 抗がん剤も危険なので放射線療法単独を。
- 抗がん剤と放射線併用療法。



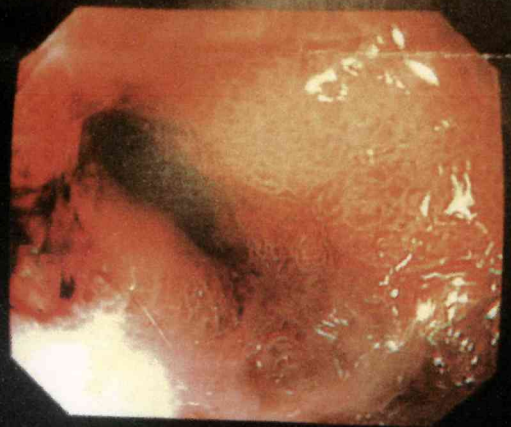
まったく別人

- 全く副作用が出ない。
- 1週間前のこともしっかり記憶。
- 体重は増え血色も白くなり、固形物食べる。
 - **確定申告を済ませ、**
 - **息子に点滴をしてもらい、**
 - **念願のK大病院へ入院**
 - **抗がん剤治療も**



D 食道

入院時(2月)



退院後1か月(5月)

心不全

- 7月10日(木)、呼吸困難のため救急車で入院
- 7月11日(金)、血圧低下。14日より渡米のため延命治療について判断迫られる。
- 7月12日(土)、大阪で講演。
- 7月13日(日)、日本橋本社でビデオ収録
- 7月14日(月)、心嚢ドレナージ、ステロイドパルス、ラシックスシリンジポンプ、抗生剤。

自宅へ退院(8月18日)

- およそ10キロ体重減。食事ほとんど摂れず。
- 9月までもたないだろう。
- 叔父から(人様のために忙しい)。
- 東北医療支援中止。
- 土曜は父の自宅へ。

毎週土曜日

- 血圧測定、聴診、サチュレーション。
- 毎回同じ昔話(旧制中学の勤労働員、東京大空襲、江戸末期に土分に)
- こちら側からあちら側へ(時間を超えた存在、生きた意味)

回復



下降線

- 10月31日、12月1日と再入院。
- 12月18日、療養型病院へ転院。
- 12月、1月、2月
- 認知症の適応的意義 (aging)



下降線

- 10月31日、12月1日と再入院。
- 12月18日、療養型病院へ転院。
- 12月、1月、2月
- 認知症の適応的意義 (aging)
- 3月から毎朝出勤前に見舞う。



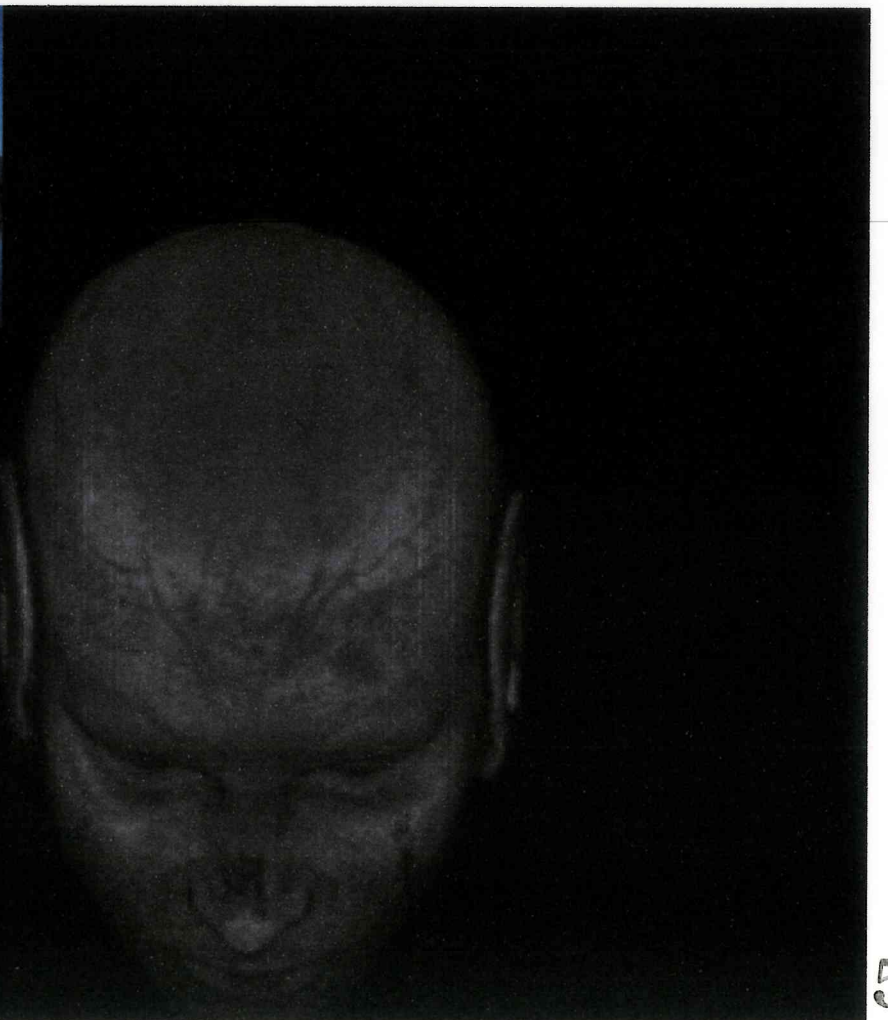
4月9日(木)

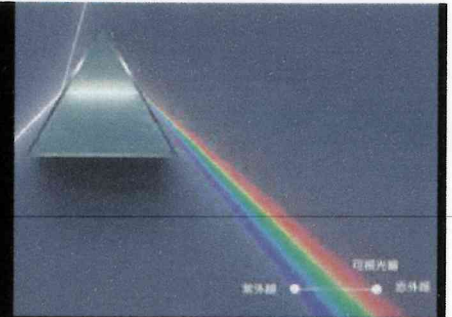
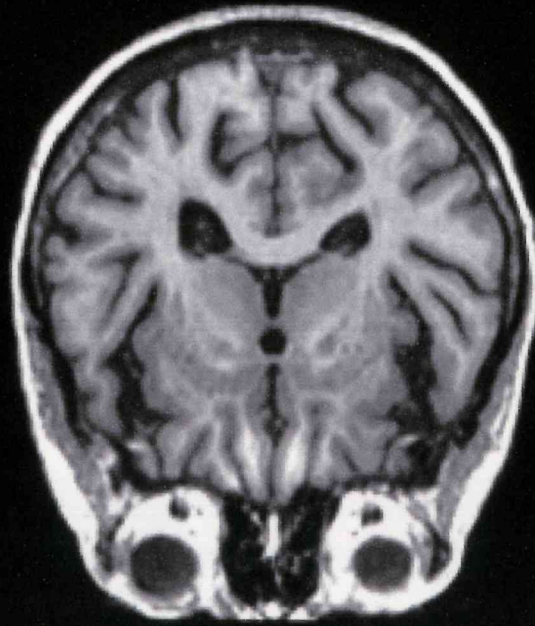
トコヨ マレビト タマ
常世 稀人 魂

4月16日(木)

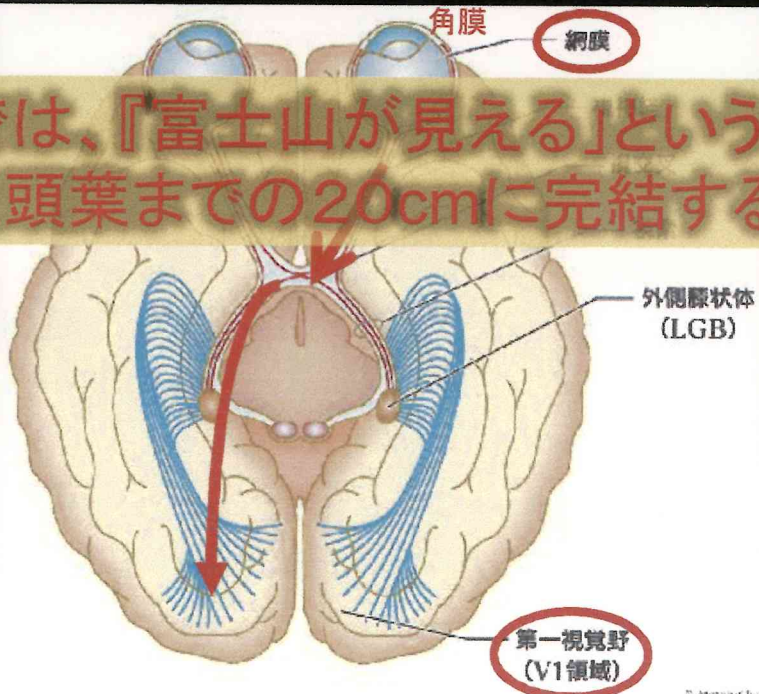
近代科学

- 心を実体化する癖
- 私たちの物事のとらえ方に、どのように影響しただろうか？





近代科学では、『富士山が見える』という知覚は
角膜から後頭葉までの20cmに完結する。



近代科学(実体化の習慣)

• 富士山が見える。→ 角膜から

• モーツァルトが聞こえる。→ 鼓膜から

周りの世界は全て脳の中で起きている

• 煎りたてのコーヒー豆の香り。→ 嗅覚受容体



統合失調症は脳の病気である

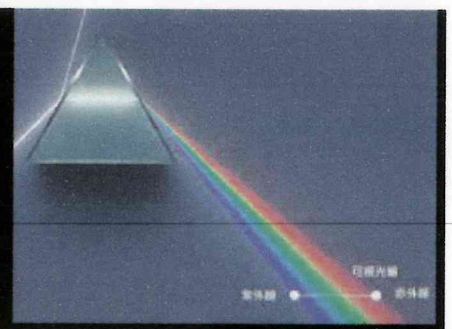
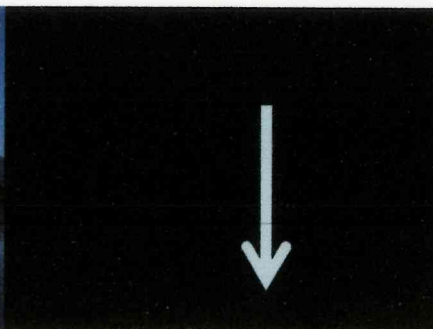
生活臨床を思い出す

• 正月ごとに抗精神病薬を倍増させる。→ 実体化

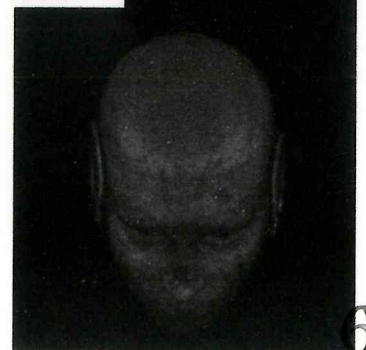
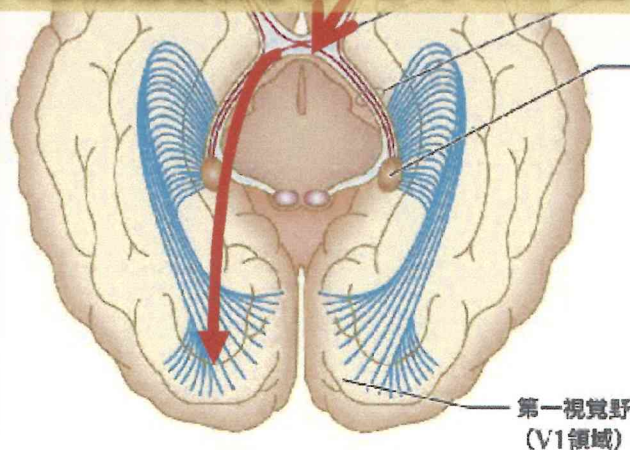
• 両親から本家の名代として。弟夫婦から感謝。

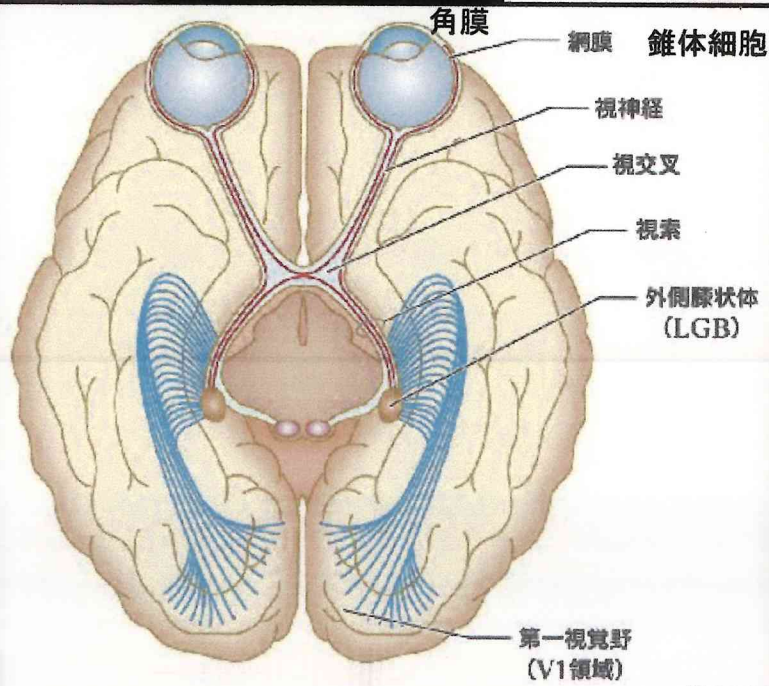
→ 実体化できないもの

もう一度、実体化できないものを



近代科学では、『富士山が見える』という知覚は角膜から一次視覚領野までの20cmに完結する。





心の実体化できる部分: 角膜より後ろ

頭がい骨の内側(神経回路網・タンパク質)

心の実体化できない部分

頭がい骨の外側 : 角膜より前方

(自分と相手の関係性・過去・歴史・家族)

丹精込める、心を込める、心を寄せる、気持ちを汲む

精神療法のエッセンス(古茶大樹)

— 患者を**了解**すること

- 聞き手である私は全く同じ体験をしたわけでもないのに、話し手である相手の心、その心の動きが「よくわかる」という。そして相手は、私にそれが伝わることを知ると「少し気持ちが楽になった」という。
- 二つの**心の共鳴**すること、人と相対して言葉を交わす時、映画や小説の主人公に心を寄せる時にも同じように働く、心だけの持つ特質、心を脳に置き換えるときに視野に入らなくなる側面
- 治療的に作用しているのは医師の追体験しようとする態度

近代科学(デカルト)の功罪

1. 生命現象を上皮組織の内側に封じ込めた。
2. 因果関係を重視する。

近代科学(因果律)の功罪

- 因(原因)がなければ、果(結果)はない。
- 現代人は近代科学的思考(原因探し)に慣れている。

原因(犯人)探し

近代科学: 全ての現象を直線的因果律で結ぼうとする

- うちの息子は、どうして統合失調症になったのでしょうか。

原因(犯人)探しの罫(わな)

- 幻聴があるから、生活ができない。
- 幻聴(因)→生活障害(果)

• 幻聴さえなくなれば生活ができる(問題は解

周囲も本人も幻聴に注目して生活する。
症状の焦点化(今日の幻聴、今度の薬)

幻聴は原因ではなく結果かも

- 人間関係、生活基盤、金銭関係
- 環境調整・社会的サポート
- 社会参加できたら幻聴が変化。

まとめ

- 心とは、神経系の発達があるレベル以上に達したとき、**物理学的に**発生するのではないらしい(AI、中国語の部屋)。
- 身体医学は病態をタンパク質レベルへ**実体化**して実験医学を実践した。
- 精神現象には**実体化できないもの**がある(尊厳、自尊心、夫婦喧嘩遺伝子)
- ヒトは生物に他ならないが、生物学のみで生存しているのでもない(生活臨床、回顧話)

結語

- 統合失調症は精神機能が自由を失う病的な状態に他ならない。
- 精神機能は実体化できるもの(脳)と実体化できないもの(心)がある。
- 脳(実体)の研究で有効な治療物質(実体へ働きかける)を発見する。
- 心(実体化できない)の研究でヒト固有の回復法(物語を紡ぐ)を開発する。
- 精神疾患の治療には脳と心へのアプローチの両立が必要。